

五番街マルシェについて

(Q)

・8月、12月は五番街のクラブ・サークルなど参加者が今のところ頑張っているの、マルシェ無しでやっていける。

・今まで通り、クラブ・サークル参加で8月は夏祭り、12月は、お相撲さんを招いて等の餅つき大会など、シンプルな楽しみで良いのではないか。

(A)

今回の班会議で使用した資料は、2021年10月段階での新しいイベントの検討状況を、基本的なポイントのみ資料化しご提示しました。その後自治福祉部から2021年10月理事会でイベント企画状況の中間報告が行われ、さらに2022年1月15日に開催した理事会で新しいイベント企画の骨格の最終案である「五番街マルシェのご提案(最終案)」を承認しました。

最終案の内容は「五番街ホームページ」に掲載(五番街HP→団体・クラブ・サークル→団体系→五番街イベントセンター)しておりますのでご参照ください。

今後は、五番街マルシェの詳細項目の検討に入りますが、具体的な詳細内容はイベント開催の1カ月前までに確定します。

イベント開催を通じて住民間の交流を深めることは、住民の安心・安全な暮らしやマンションの価値向上に寄与するものであり、イベントの開催を通じたコミュニティ活動の重要性は一層高まってきていると考えております。

しかしながら、住民の高齢化に伴い必然的にイベントの担い手の柱である団体クラブ・サークルの皆さまや理事・監事も高齢化を余儀なくされ、理事や住民負担を軽減せず、このまま従来の形のイベントを継続するのは早晩困難になるという懸念からイベントの見直しに着手しました。

ところが、検討を始めた矢先、新型コロナウイルス感染爆発により、感染症と共存を余儀なくされる状況の下では、従来形のイベント開催は困難であることが、決定的なものとなりました。さらに2年間イベントが未開催となり、このままではイベント自体の消滅が避けられないことから、理事・住民の負担を軽減しつつ「感染症時代にマッチングした新しいイベント」として五番街マルシェを企画することと致しました。

今までのイベントは大勢が一堂に会する「まつり」を目指していました。しかしながら、感染症時代にあっても持続可能なイベントとしていくには「三々五々人が集まるマルシェ」を基本コンセプトにイベントの基本的内容を組み替えていく必要があると判断しました。従いましてイベントの個々の内容は、従来は行っていたものでも実施しなかったり、規模を縮小するものも出てまいります。また外部の力を借りる等、従来なら想定していなかった内容も実施する場面も出てく

ることをご理解いただきたいと思います。

五番街イベントの担い手の育成について

(Q)

- ・マルシェについてはあった方がいいと思うが、誰がやるのかの問題はあると思う。高齢化が進み、お手伝いできる人が少なくなってきている。
- ・高齢者はあまり参加しないのでは・・・。
- ・お金を出せば企画実行してくれる業者はいると思うが・・・。費用が出せるか？そこまでしてやるか？の問題あり。

(A)

住民の高齢化によりイベントの担い手が少なくなる懸念はご指摘のとおりです。そのためにも一部外部の力を借りながら、これまでに比べて負担感の軽減により誰でもが担い手になれるイベントとして五番街マルシェを企画してまいりたいと考えております。

五番街マルシェの開催回数について

(Q)

- ・五番街のイベントなど縮小する流れになっているのになぜマルシェなのか？
試しにマルシェを行うなら3月、5月と2回にして欲しい。
- ・理事や階段連絡員の負担軽減を考えると、これまでは年2回だったが、今後は年4回に増やすのはなぜ？年1回でも楽しめると思うのですが。
- ・今まで通りの夏祭り、餅つきくらいは良いと思うが、年4回も必要ないのではないか？
- ・子供が小さいときは行っていたが、個人的には行かないと思う。
- ・文化の継承は必要だとは思いますが・・・。
- ・年4回のイベントは、担当者の労力を考えると、多過ぎる。
- ・高齢化を考えると、イベントは減らしていくべきである。

(A)

新しいイベントの基本コンセプトは上記のとおり感染症と共生を余儀なくされる中でも持続可能なイベントを開催し、もって住民の交流をより深め、住民の安心安全な暮らしに役立てることを目指しております。その意味では担い手の負担が軽減される限り、回数は多い方がより住

民間の交流は図れるものと考えております。確かに立ち上げの段階では新しい試みであり想定どおりの負担軽減につなげるには相当の努力が必要であると認識しておりますが、回数を重ねノウハウが円滑に継承される場合は相当程度負担は軽減するものと考えております。

従来の納涼祭、もちつき大会のような負担の重いイベントを、さらに2回増やすのなら「年4回の開催は多すぎる」とのご指摘はまさにその通りであります。五番街マルシェは前述のとおり負担を軽減し持続可能なものとして開催を目指していきたいと考えておりますのでご理解をお願いいたします。

五番街イベントの感染対策について

(Q)

- ・リスクが低いと書いてあるが、イベントに多くの人数が集まって大丈夫なのか。
- ・三密を回避するために、マルシェとあるが殆ど以前と同じように見える。

(A)

感染症と共生する中での感染対策はイベント実施の大前提となります。詳細はHP掲載の「五番街マルシェのご提案(骨格の最終案)」に譲りますが、

- ①感染症による開催可否の決定判断については、政府の感染ステージ判定基準に基づき、開催月の前々月末の段階で決定。
 - ②マルシェ会場に出入り口を設け、手指消毒・検温・マスク着用確認を実施。
 - ③確認済みの方にリボン(仮案)を肩付近に装着。一目で未確認者の混入が判明できるようにする。
 - ④住民お休み処にアクリル板等の設置
 - ⑤会場で入口付近に看板を設置し、新型コロナ対策ルールの徹底。
- 等々、可能な限りの感染防止対策を行う予定です。

五番街イベントの理事・住民負担軽減について

(Q)

・イベントでコミュニティを活性化させたいとの思いは大賛成。これまでのイベントにおいても理事や階段連絡員、団体クラブサークル員の負担が大きすぎると言われてきたようだ。新しいイベント案ではその負担がどうなるのかまだ見えない。

- ・住民負担軽減に焦点をあてた説明がもっとあるといい。
- ・理事や階段連絡員の負担軽減に更に重きをおいて検討してほしい。3月、5月(理事会模擬店もあるようだが)は負担は減りますか？
- ・新規イベントについて、理事、階段連絡委員の負担が少なくなるやり方は賛成できる。
- ・コロナの終息にもよると思うがまだ内容に現実感が持てない。
- ・マルシェにすることで、必要な人員は削減できるのか
- ・マルシェが4日(回)になることで、負担が増えるのでは？
- ・階段連絡委員の負担がどれくらいになるのか？
- ・高齢化している現状で不安がある。
- ・新しいイベントについて理事、階段連絡委員は参加するのか教えてほしい。

(A)

基本コンセプトの欄でも触れましたとおり、五番街マルシェの担い手である理事や住民の皆さまの負担を軽減することは五番街マルシェを持続可能なものにする上で避けて通れないものと判断しております。そのため、五番街マルシェ最終(骨格)案では、

- ② 理事会の模擬店内容の見直しなどによる理事の負担軽減
- ②それに伴い、原則として階段連絡委員の皆さまへの応援依頼は行わない予定です。ただし、自主的な応援のお申し出は大歓迎いたします。
- ③理事会主催のアトラクションの見直し・削減による理事の負担軽減
- ④五番街以外の方々の出店協力を得て、理事会の出店負担を軽減する。

等々を実施する予定です。さらに、回数を重ねる中で皆様のご意見等も踏まえながら、さらに負担を軽減する方向で検討・実施してまいりたいと考えております。

五番街マルシェの外部からの出店について

(Q)

- ・マルシェは実際に一度やってみて、どうしていくべきか検討すれば良い。
- 業者の出張市のようになるとは趣旨が違ってくるのでは。

(A)

ご指摘の通り、五番街マルシェは新しい試みであり試行錯誤の部分もあります。実際に開催

試みて修正すべき点も出てくると思われますし、住民の皆さまのご指摘・ご意見も踏まえながらより良いものに作り上げてまいりたいと思います。住民および団体、クラブ・サークルの高齢化が進む中で、イベントの担い手（模擬店出店者）として外部出店により、さらに魅力あるマルシェとしていくことを考えておりますのでご理解をお願いいたします。

五番街マルシェの農園の出品内容について

(Q)

・3月、5月のマルシェは、収穫作物が少ない時期であり、開催する意味が解らない。開催するなら10月に収穫祭をやれば良い。

(A)

五番街マルシェに出店予定の農園と打合せを重ねる中で、ご指摘の3月、5月にも出品予定の農作物をリストアップいただいております。とは言え、農作物もいわば生き物相手で、思惑通り進まない可能性はありますので、農園には引き続き積極的な出品対応をお願いしてまいります。

五番街イベントの理事会の役割について

(Q)

・五番街の団体、クラブ・サークル活動は自主的に運営されています。理事会はこれまでそのバックアップをしていただいていた。イベント中身を理事会が決めるのではなく、それぞれ団体、クラブ・サークル自由意志を尊重してやると良いのではないのでしょうか？

(理事会が細かい具体的な内容を決め過ぎているようにも映る)

(好きな人たちが好きなことを集まって楽しくやるのが大事な)

(A)

今まで理事会主催の各種イベントに積極的に参加・協力していた団体、クラブ・サークルの皆さまには感謝申し上げるとともに、今後も可能な範囲でのご協力を引き続きお願い申し上げます。イベントを開催するにあたっては、誰かが枠組みを作る必要があります。いかなる行事で

あっても基本的な枠組みがなければ実施は不可能であることは明らかであります。住民からいただいた管理費の中からイベントを開催する限り、枠組みを作る役割は理事会以外にはありません。理事会が用意した枠組みのなかでは可能な限り各団体サークルの自由な創意工夫を発揮いただきたいと考えております。

今回の五番街マルシェについてのご提示内容も言わば基本的な枠組みであり、今後回数を重ねるなかで団体、クラブ・サークルはじめ住民の皆さまからのご意見も頂戴しながら、よりよい五番街マルシェに共に育ててまいりたいと考えております。

五番街イベントの団体・クラブサークルの許可について

(Q)

各クラブに許可をとっているのか教えてほしい

(A)

団体クラブ・サークルに対しては昨年7月段階でその時点での検討内容を提示したうえで、仮の参加意思の確認を取り、班会議の資料に記載させていただいておりますが、確定したものではありません。五番街マルシェの骨格内容が固まりましたらあらためて内容を提示の上で、参加意思を再確認させていただくこととなっております。なお、イベント内容の見直しについては当然ながらご意見はいただき、必要であれば内容を修正してまいりたいと考えております。

しかしながら、ご質問の趣旨が「そもそもイベントの見直しには団体、クラブ・サークルの許可が必要だ」ということであるならば、団体、クラブ・サークルに見直し内容について説明し、ご理解を求める努力をするのは当然ながら、「団体、クラブ・サークルの許可がなければ見直しができない」とは理事会として考えておりません。

自治福祉部の未消化予算の有効活用について

(Q)

・自治福祉部の自治活動費についてコロナ禍で自治活動が激変したことで生じた残余分は有効に使ってほしい。

(A)

2020年度、2021年度ともにイベントが全て中止となりましたので自治福祉部の決算は予算を大幅に下回りました。今後とも自治福祉部のみならず、理事会全体として予算の有効活用につとめてまいります。

イベントによるマンションの活性化について

(Q)

・資料にあるよう昨年度は催しが一切できなかったが来年度はその活動も可能となり、マルシェを行う準備をしている。イベントを行い、マンションの活性化につなげたい。(期待拡大)

(A)

ご指摘のとおり、イベントを通じて住民の交流を図り、五番街そのものの活性化につなげるよう努力してまいります。

その他

(Q)

班会議で何をするのかわからない

(A)

ご質問の趣旨が今一つ不明ですが、班会議では五番街マルシェの10月段階の企画内容の概要をご理解いただければと思っております。五番街マルシェは新しい取り組みであり、試行錯誤の部分もあります。今後の班会議でも住民の皆さまからご意見を頂きながら、より良いものを作り上げてまいりたいと考えておりますのでご理解のほど宜しくお願いいたします。

以上